

子育て世代の声をつくば市政へ！

TSUKUBA CHANGE CHALLENGE

つくば チェンジ チャレンジ

挑戦者：川久保 皆実



挑戦者プロフィール



川久保 皆実
Minami Kawakubo

1986年つくば市生まれ（現在34歳）、2児の母（1歳・3歳のわんぱく兄弟を絶賛子育て中！）

【学歴】

- ・1992年：つくば市立竹園保育所卒園
- ・1998年：つくば市立竹園東小学校卒業
- ・2001年：つくば市立竹園東中学校卒業
- ・2004年：茨城県立竹園高等学校（普通科）卒業
- ・2008年：東京大学法学部卒業 ※在学中に東京大学国際交流の場「HOME」を立ち上げ
- ・2010年：東京大学法科大学院（既修者コース）修了

【職歴】

- ・2010年～2013年
一度目の司法試験に落ちたことをきっかけに、法律とは全く別のことをやってみようと思い立ち、たまたまネットに企画・営業職の求人募集が出ていた株式会社シンプルウェイ（つくば市内のITベンチャー企業）に入社。同社では、ポータルサイト「つくばちゃんねる」の企画営業、つくばの街おこし合コン「つくコン」の立ち上げに携わる。
- ・2013年～2014年
一念発起して、働きながら受験勉強を行い、二度目の**司法試験に合格**。水戸市にて1年間の司法修習。
- ・2015年～現在
弁護士資格を取得し（第二東京弁護士会所属）、鳥飼総合法律事務所に入所。
得意分野は**労働法**であり、特に**テレワーク**については数多くの講演・執筆歴あり。
- ・2017年～現在
株式会社シンプルウェイの取締役役に就任。同社の在宅勤務やフレックスタイム制導入などの**働き方改革**に携わる。
- ・2018年～現在
株式会社リージットを**起業**し、代表取締役に就任。
業務を見える化できるクラウドシステム「Log+（ログタス）」の開発・提供を行う。

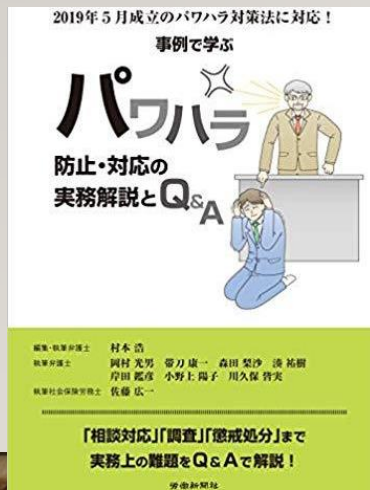
【参加団体】 第二東京弁護士会労働問題検討委員会、日本テレワーク学会、日本テレワーク協会、日本産業保健法学会（テレワーク従事者の保健法に関する調査検討委員会）

【主催団体】 テレワーク実務研究会

執筆・取材歴



ビジネスガイド 2016年8月号
特集「採用の目的・雇用形態に応じて 労働条件通知書兼雇用契約書に何をどう盛り込むか!!」



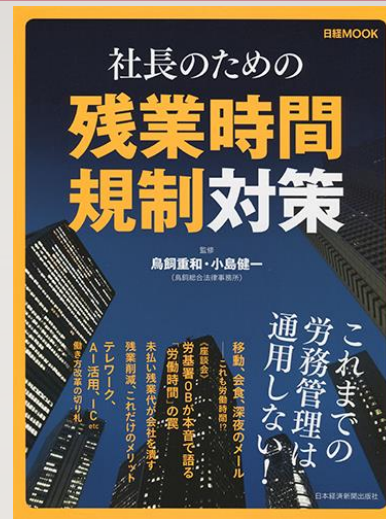
労働新聞社 (2019年7月30日発売)
「事例で学ぶパワハラ防止・対応の実務解説とQ & A」



ビジネス法務 2017年1月号
Trend Eye「テレワーク労務管理上のポイント」



ビジネス法務 2020年1月号
特集「テレワークの疑問解決Q&A」



日経MOOK (2017年11月28日発売)
「社長のための残業時間規制対策」



税務弘報 2020年8月号
特集「税理士事務所のテレワーク」



労務事情 2018年7月号
「テレワーク導入を成功させるための労務管理ポイント」

法的に可能、社員の納得重要

出社による感染リスクが高いといえる特段の事情もないのに出社拒否を続ける場合には、懲戒処分などを行う余地もある。ただその場合にもまずは厳重注意や軽めの懲戒処分から行う。「安易に解雇すると解雇権の乱用として裁判で無効と判断されるリスクがある」（川久保実弁護士）

実際のところ、在宅勤務を希望する優秀な社員
の解雇などは会社にとつても大きな損失であり、
現実的ではない。譲歩し
て在宅勤務を一部でも認
め、業務効率化を図る機

A 社員に納得しても、こうした努力は必要だ。例えば、顧客とオフィスで対面で接する必要があると

一方、「情報セキユリテ
イーを担保する設備が整
っていない、勤怠管理が
難しいという、企業が解
決すべき事柄は理由とし
て説得力が乏しくなる」
(倉重公太朗弁護士)。

○ 出社させる場合の
注意点は。

A 緊急事態宣言は解除されたが、感染リスクがゼロになったわけでは

ない。企業は安全配慮義務の観点から、感染予防対策を行う必要がある。ただ、新型コロナウイルスに関して安全配慮義務をめぐる判例はまだなく、何をどこまで行えば企業が免責

指針がある業界は、それを順守することが義務を果たしたことの一定の証明にはなるだろう。だが、オフィスでの業務は仕事内容も様々で、画一的な指針は存在しない。各企業が「3密」を避けるために、できる工夫をする必要がある。

○ 欧州には「在宅勤務権」を法的に導入する動きがある。

A ドイツのハイル労働・社会相が2020年秋に新たな法案を提出する構想を明らかにした。

労働者が在宅勤務を企業に要求できるようにする
とともに、長時間労働の
抑止策なども盛り込む。
ただ雇用システムが異な
る日本ですぐに同様の制
度を導入するのは難し
うだ。

（編集委員） 瀬川奈都子

2020年6月21日
日本経済新聞日刊3面

挑戦の動機



2017
年



2017年、長男の妊娠を機に、つくば市から私の職場がある東京都千代田区に移住しました。

千代田区在住中に長男・次男が生まれ、我が家は共働きのため、二人とも千代田区立の保育所に預けて働いてきました。

今年、新型コロナウイルスの影響でウェブ会議が普及したことから、夫婦ともに完全テレワークが可能となり、つくば市にUターン移住することを決意。

移住のための保活をしているときに、千代田区とつくば市の公立保育所の制度の違いに愕然としました。



2020
年



	千代田区の公立保育所	つくば市の公立保育所
保育料の上限	57,500円／月	78,000円／月
使用済みオムツ	保育所側で処分。	保護者が毎日持ち帰る。
3歳児クラス以降の主食	主食費は上記保育料に含まれる。	保護者が毎日白飯を持参。
お昼寝用布団	保育所側で敷布団とシーツを用意。（シーツの付け替えは保護者が毎週1度お迎え時に行う。） 保護者は季節関係なく肌掛け用のバスタオル1枚だけを毎週末に持ち帰る。	保護者が布団一式を用意し、毎週末に持ち帰る。 布団乾燥費用として年間数千円を保護者が負担する。

挑戦の動機

このつくば市の制度、**約30年前に私が竹園保育所に通っていた頃から変わっていません。**
この**30年間**、誰も変えようとしてこなかったのか、もしくは変えようとしても潰されてきたのか、いずれにしても**30年間制度が変わらなかった**という事実がとても残念でなりません。

なぜ制度が変わらなかったのかを考えてみたときに、保育園に子供を預けるフェーズにある**子育て世代（特に働く母親）の切実な声**が**市政に届いていなかった**ことが原因ではないかと思うに至りました。



原因は、子育ての世代の声が
つくば市政に届いていなかったことではないか？

挑戦の動機

現在のつくば市議会議員の構成については、つくば市公式サイト次のページにて、顔写真付きで見ることができます。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/shigikai/meibo/1002604.html>

(※「つくば市議会議員」でネット検索すると出てきます。)

現在の最年少の議員は黒田健祐議員（現在**39歳**）であり、
乳幼児の子育て世代の中心となる20代～30代の議員が圧倒的に少ないことが分かります。

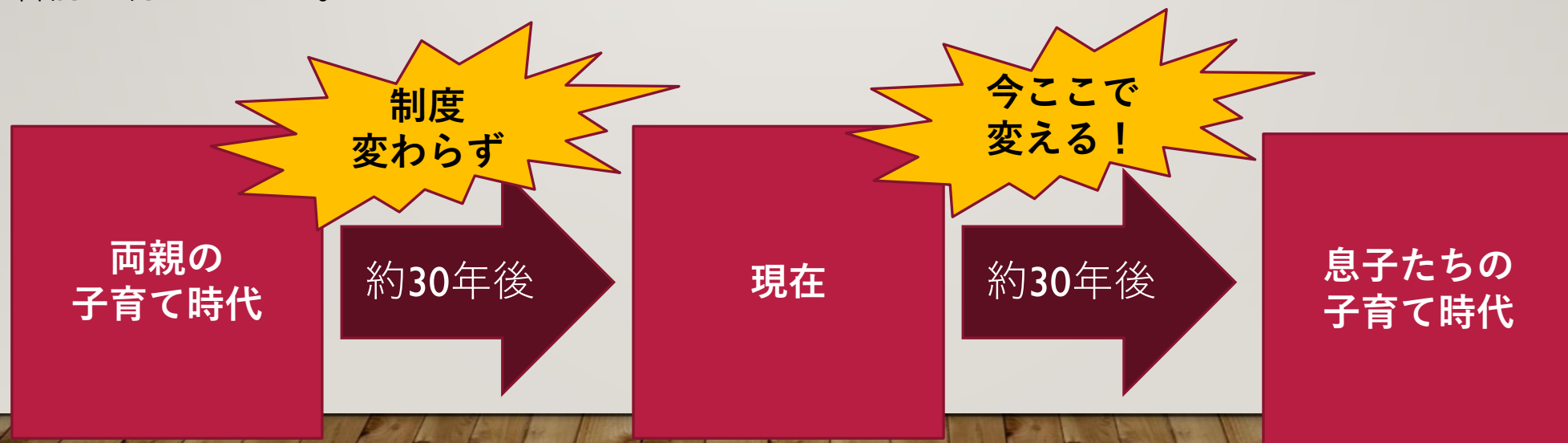
挑戦の動機

子育て世代の切実な声を今つくば市政に届けなければ、
おそらく若い息子達が子育て世代となる**30年後**にも、制度は今のまま変わらないでしょう。

私は、**30年後につくば市で子育てをする人たちに、今の自分のような思いを味わってほしくありません。**

そこで、つくばで子育てをする一母親として、子育て世代の暮らしを改善する具体的な政策を掲げ、つくば市政に届ける挑戦をしようと決意しました。

そしてこの挑戦をより多くの人に知ってもらうため、「つくばチェンジチャレンジ」という名前を付けました。



子育て世代の暮らしを改善する 5つの政策

子育て世代の声をつくば市政へ！

TSUKUBA CHANGE CHALLENGE

－ つくばチェンジチャレンジ －

1	公立保育所の制度改革	使用済みオムツの持ち帰り・白飯持参など、保育所に子供を預ける保護者にとって日々の負担となっている制度を改革する。
2	病児保育の支援拡充	病児保育施設の誘致や病児保育のベビーシッター費用の助成により、働く子育て世代の生命線である病児保育を利用しやすくする。
3	学童保育 お弁当注文制度の導入	夏休みなどに学童保育を利用するときのお弁当を、インターネット上の専用サイトで注文可能にする。
4	効果的な オンライン授業の実現	公立小中学校において、新型コロナウイルスの再流行に備え、いつでも全生徒オンライン授業に切り替えられる体制を早急に整備するとともに、オンラインの特性を活かした効果的な授業スタイルを導入する。
5	託児所付 テレワーク施設の新設	託児所付きのテレワーク施設を新設することにより、授乳中の母親へ早期復職の道をひらくとともに、出産を機に離職した子育て世代へ社会復帰の機会を提供する。

1 公立保育所の制度改革（具体案）

- 使用済みオムツの持ち帰り制度を廃止する
- 3歳児クラス以降の主食については、主食費徴収または白飯持参を選択可能とする
- 毎週末の布団持ち帰りを不要にする新たなサービスを導入する

※私立保育所についても同様の改善ができるよう、市が助成を行う。

1 公立保育所の制度改革（立案の想い）

私が最近まで子育てをしていた東京都千代田区とつくば市とでは、公立保育所の制度がこんなにも違います。

	千代田区の公立保育所	つくば市の公立保育所
保育料の上限	57,500円／月	78,000円／月
使用済みオムツ	保育所側で処分。	保護者が毎日持ち帰る。
3歳児クラス以降の主食	主食費は上記保育料に含まれる。	保護者が毎日白飯を持参。
お昼寝用布団	保育所側で敷布団とシーツを用意。 （シーツの付け替えは保護者が毎週1度お迎え時に行う。） 保護者は季節関係なく肌掛け用のバスタオル1枚だけを毎週末に持ち帰る。	保護者が布団一式を用意し、毎週末に持ち帰る。 布団乾燥費用として年間数千円を保護者が負担する。

「つくばに移住すると、日々の親の負担が半端ないな」「そもそも白飯持参って・・・」
住む場所が変わるだけで子育ての大変さはこんなにも変わるものかと、保育所理由で一旦は移住を諦めかけました。

千代田区は日本でも有数の財政力のある自治体ですから、保育料の上限の違いについては仕方ないとしても、その他の点についてはつくば市でも改善の余地はあるはずです。

子育て世代の日々の負担を減らし、つくば市を本当の意味で「子育てしやすい街」にしたい。
このような想いから、保育所の制度改革を目指します。

2 病児保育の支援拡充（具体案 1）

- 病児保育施設を、つくばエクスプレス駅周辺エリア
その他子育て世代が多いエリアに誘致

（※現在、つくば市内の病児保育施設は島・上野・西大井・みどりのの4か所のみ）



出典：つくば市公式サイト



2 病児保育の支援拡充（具体案2）

・病児保育にかかるベビーシッター費用の一部を助成

他の自治体における病児保育のベビーシッター費用の助成例は次のとおりです。

これらの例を参考に、つくば市においても少なくとも未就学児のベビーシッター費用の助成を実現すべきです。

自治体	助成対象児童の年齢	助成率	上限金額
川口市	0歳から小学校6年生までの児童	1時間につき1,000円または費用の50%のいずれか低い額	公式サイトに明記なし
千代田区	生後57日目から小学校6年生までの児童	50%	年間4万円
港区		生活保護世帯又は住民税非課税世帯：100% それ以外：50%	生活保護世帯又は住民税非課税世帯：年間10万円 それ以外：年間5万円
狛江市		生活保護世帯又は住民税非課税世帯：1時間につき2,000円 それ以外：1時間につき1,000円	生活保護世帯又は住民税非課税世帯：1日あたり22,000円、年間88,000円 それ以外：1日あたり11,000円、年間44,000円
文京区		50%	年間4万円
台東区	生後6か月から小学校6年生までの児童	50%	年間4万円
目黒区	保育所等を利用している未就学児	1時間につき1,000円（1日10時間まで）	年間4万円
渋谷区		・生活保護世帯又は住民税非課税世帯：1時間につき1,000円 ・それ以外：1時間につき2,000円 （1日10時間まで）	年間10万円
豊島区		100%	1日あたり2万円 年間10万円

2 病児保育の支援拡充（立案の想い）



**朝、子供が突然熱を出して保育所に預けられず、
「うわっ...今日の仕事どうしよう...」となった経験はありませんか？**

我が家の長男は気管支が弱く、保育所に入園してから最初の1年間は、毎月のように熱を出して保育所を休んでいました。

その度に、夫婦で悲鳴を上げながらも、お互いの仕事を調整したり、どうしても調整できないときは実家の母に電車で駆けつけてもらったりしながら、何とか仕事をやりくりしてきました。

しかしながら、就いている仕事の内容や、親からヘルプを得られるかどうか次第で、このようなやりくりができず、結局夫婦のどちらか（主に妻）が仕事を辞めざるをえなくなるというケースは珍しくありません。

**病児保育は、働く子育て世代にとって、まさに生命線なのです。
そしてこの生命線が強く・太くなれば、安心して働きながら子育てできる街になるのです。**

このような想いから、病児保育の支援拡充を目指します。

3 学童保育お弁当注文制度の導入（具体案）

- ・ インターネット上の専用サイトで事前にお弁当を注文しておけば、当日のお昼に学童保育施設にお弁当が届く制度を新たに導入
- ・ お弁当を作るのは、つくば市内に本拠地を置く弁当屋・飲食店とし、新型コロナウイルスの影響で売上が落ち込む地域店舗の支援も兼ねる制度とする

※つくば市内の高等学校においても同様の制度を導入できないか検討する。

3 学童保育お弁当注文制度の導入（立案の想い）



夏休み期間中の学童保育のお弁当作り、大変ではないですか？

私は料理の手際がびっくりするほど悪いので、長男（現在3歳）が小学校に上がった後の学童保育のお弁当作りのことを考えると、今から本当に気が重いです。
また、かなり先の話ではありますが、子供たちが高校生になったら、お弁当作りが毎日なのかと思うと気がおかしくなりそうです。

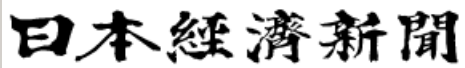
かと言って、毎日コンビニ弁当を持たせるというのは親として少し罪悪感を感じます。

もし、学童保育や高校でお弁当を注文できる制度があったとしたら、堂々と利用でき、日々の負担がぐっと軽くなるとは思いませんか？

既に奈良市では、**2019年**に市が主体となって、学童保育利用時のお弁当を注文できるシステム「バンビーランチ」を導入しています。他の自治体で可能なことが、つくば市でできない訳がありません。

このような想いから、つくば市内の学童保育（できれば高校も！）のお弁当注文制度の導入を目指します。

3



朝刊・夕刊 ストーリー Myニュース 日経会

[トップ](#) [速報](#) [マネー](#) [経済・金融](#) [政治](#) [ビジネス](#) [マーケット](#) [テクノロジー](#) [国際](#) [オピニオン](#) [スポーツ](#)

2019/7/12 6:35 | 334文字

保存 共有 印刷 その他▼

小学校の長期休暇中に学童保育でランチを提供している奈良市は、今夏から保護者がスマートフォンなどで予約やキャンセルができるシステムを導入する。これまでキャンセルなどは2日前までにメールで連絡を受けて市の担当者が対応していたが、前日午後3時まで受け付けられるようになる。システム開発費は約170万円。

[illegible]

④ 画像の拡大

スマホやパソコンから予約やキャンセルを行える

出典：日本経済新聞電子版
(2019年7月12日)

4 効果的なオンライン授業の実現（具体案1）

・ 全生徒オンライン授業に切り替えられる体制の整備

新型コロナウイルスの再流行により、学校への登校が困難になった場合に備え、いつでも全生徒オンライン授業に切り替えられる体制を早期に整備する必要があります。

具体的には、つくば市で既に実施された「**家庭におけるインターネット利用状況調査**」の結果をふまえ、**PC端末とモバイルルーターが必要な全ての生徒に貸し出し**を実施する必要があります（※）。

市の予算では対応しきれない場合には、例えば貸出用の**PC端末**や**モバイルルーター**に**企業・店舗名**を表示するという条件のもと、企業・店舗から協賛を募るなど、市の予算を使わずに体制整備する余地もあるのではないかと考えています。

※2020年6月1日付けのつくば市公式サイトにて、「貸出用**PC端末とモバイルルーター700台**を緊急整備」と書かれていますが、「つくば市学校等適正配置計画（指針）」（2020年3月）によれば、2019年におけるつくば市内の生徒数は**5,900人**であることからすると、必要台数を全て補いきれない可能性があります。

4 効果的なオンライン授業の実現（具体案2）

- ・ 従来型のクラス単位で授業を進めるスタイルではなく、
オンラインの特性を活かした授業スタイルを導入

現在つくば市の公立小中学校でどの程度オンライン授業が行われているのか、また、どのような内容のオンライン授業が行われているのかについては、自分の子供が未就学児であるためよく把握できておりませんが（小中学生の保護者の皆さん、ぜひ教えてください！）、少なくともコロナ禍第1波の間の全国の学校の取り組みのニュースを見る限り、**従来型の授業をオンラインで行うことで精一杯**という印象を受けました。

しかしながら、オンライン授業では教室スペースの制約がなくなるため、**物理的には同じ学年の生徒全員が同じ先生の授業を受けることも可能**になります。極端な話ですが、オンラインであればもはや学校という単位に縛られる必要もないのです。

先生方が手分けして授業を行うことができれば、各先生が授業準備の時間が多く取れるため**授業の質も良くなる**でしょうし、長時間労働や休憩時間がとれないことが問題となっている**先生方の働き方改革**にもつながります。

またウェブ会議システムの**チャット機能**を上手く利用すれば、**教室における授業では手を挙げられなかった生徒も、気軽に発言や質問ができる**ようになります。

チャット上の発言や質問については、授業中の先生ではなくサポートの先生が回答するなど体制を工夫すれば、大人数でのオンライン授業でも実のある授業になるのではないのでしょうか。

オンラインの特性をフルに活かした新しい授業スタイルを早急に検討し導入すべきと考えます。

4 効果的なオンライン授業の実現（立案の想い）

コロナ禍第1波での**一斉休校期間中**、私は**私立学校と公立学校の教育格差**を痛いほど感じました。

私立学校では早々にオンライン授業が始まり、日々学校から学びの機会が提供されたのに対して、多くの**公立学校の子供達はオンライン授業を受ける機会を与えられず**、自宅でゲームなどをして時間を潰すしかありませんでした。

そして、一斉休校が明けると、公立学校の子供達は、一斉休校期間中の学習の遅れを取り戻すべく、**普段よりも早いペースで授業を詰め込まれる**羽目になり、それによって学習につまずいてしまう子供もいるのではないかと懸念しています。

つくば市は、ICT教育に積極的に取り組んできた（はずの）街です。
そんなつくば市だからこそ、全国に先駆けて**公立学校におけるオンライン授業の理想的なモデルを打ち立て、全国に発信**していくべきであると考えます。

5 託児所付テレワーク施設の新設（具体案）

- 現在進行中のつくば駅周辺の再開発計画において、託児所付テレワーク施設の新設を計画に盛り込む
- 託児所付テレワーク施設では、利用者自身の既存の仕事をテレワークで行えるだけでなく、施設内でパートタイムでできる仕事の提供を行うことにより、出産を機に仕事をやめた子育て世代の社会復帰にもつなげる

5 託児所付テレワーク施設の新設（立案の想い）

「出産後、早く復職したいけれど、**授乳の関係で保育所に預けるのはちょっと・・・**」

「出産を機に仕事をやめたけれど、小さい子供と1日中一緒にいるのは正直しんどい。**日中少しの間だけでも子供を預けて働きたい。**」

そんな風に思ったことはないですか？

託児所付きのテレワーク施設があれば、**仕事の合間に授乳をすることが可能**となり、母乳育児を行いたい母親や、子供が粉ミルクを受け付けてくれない母親にとって、早期の復職の道が開けます。

また、長野県塩尻市では、振興公社が主体となって託児所付きの働く場「**KADO**」を運営しており、そこでは自治体や都内の企業からテレワーク可能な業務を受託しています（※2018年度の受注額は1億円超）。事前登録した市民は、それぞれのライフスタイルに合わせて、**好きな日・時間帯に子連れで施設を訪れ、子供は託児所に預け、自分は振興公社が受託した業務を行って報酬を得ることが可能な仕組み**です。

このような施設がつくば市にもできれば、子育て世代は今よりもっと自分らしく活躍できます。

このような想いから、託児所付テレワーク施設の新設を目指します。

5 託児所付テレワーク施設の新設（参考資料）

つくば駅周辺の再開発の基本方針にあたる「つくば中心市街地まちづくり戦略（2020年5月）」の中には、次のとおり、**子育て世代が場所や時間に捉われずに働きやすくなる環境を作る**と明記されています。

重点戦略4-2 新たなビジネスを支える政策の充実

4-2-1 起業支援・経営支援

起業や経営に関するセミナーの実施や創業手続きのワンストップサービスの提供、会社設立に向けた補助・融資や経営安定化・事業拡大に向けた融資、販路開拓活動等への支援を充実します。

4-2-2 外国人が過ごしやすいまちづくり

国際競争力を高め、持続的な発展を維持していくためには、海外からの卓越した研究者や事業者、投資家などの参画が重要であることから、来街者や生活する外国人が過ごしやすいまちづくりを行うとともに、外国人向けの支援窓口や一時滞在型の住宅提供などの生活支援も検討します。

4-2-3 多様な働き方を応援するサービス提供

外国人研究者や留学生、子育て世代、高齢者、障がい者など様々な人々が場所や時間に捉われず働きやすくなる環境づくりを行います。

川久保皆実の実行力

実行力の源泉となる人生観

私は、高校生のとき、「**自分がいまこの世からいなくなったとしても、社会は変わらず動き続ける。それならば、自分は何のために生きているんだろう？**」と深く思い悩みました。

その答えは、大学生になってから自分自身で見つけました。

自分にとっての答えは、「**自分がこの世からいなくなったとしても社会は変わらず動き続けるのであれば、自分がいなくなっても変わらず動き続けるものを生きている間に社会に生み出せば良い**」というものです。

私はこの人生観のもとで、大学時代から少しずつ社会を変える取り組みを実行してきました。

1. 東京大学国際交流の場「HOME」(2006年12月～)

東京大学には数多くの留学生が在籍しているものの、私の在学当時は日本人学生と留学生が気軽に交流できる場がありませんでした。

そこで、大学3年生の冬(2006年12月)に、東京大学留学生センターの支援のもと、トルコ人留学生の友人とともに東京大学国際交流の場「HOME」を立ち上げ、私が日本人学生代表に就任しました。

私の在任中、「HOME」の交流には延べ100名を超える学生が参加し、そこで知り合って国際結婚をしたカップルもいます。

また、2007年に行われた東京大学創立130周年記念事業の学生企画コンテストでは、「HOME」の企画が国際貢献賞を受賞しました。



出典：東京大学新聞(通算第3530号)



出典：東京大学留学生センターニュース(第43号)

2. つくばの街おこし合コン「つくコン」(2012年2月～)

2011年10月末、各地で街おこし合コン(いわゆる「街コン」)ブームに火がつき始める中、「つくばでも街コンを開催して、街を盛り上げたい!」との思いから、研究学園駅センター地区協議会主催・(株)シンプルウェイ共催で、第1回つくコン(2012年2月)を開催することになりました。

(株)シンプルウェイで**具体的な企画・運営を担当**することになり、私は次のような取り組みを行いました。

調査・企画

街コン発祥の地である宇都宮市の「宮コン」に実際に参加し、街コンのノウハウを調査。つくコンを企画するにあたっては、宮コンをそのまま真似るのではなく、参加者として宮コンについて感じた問題点をふまえて、様々なアレンジを加えました。

参加店舗の開拓

研究学園駅周辺の飲食店を飛び込みで営業してまわり、つくコンへの参加を呼びかけ。最初は冷たくあしらわれるも、諦めずに3回にわたって説得し続け、最終的には21店舗に参加してもらえることになりました。

ボランティア対応

つくコン当日は総勢90名のボランティアスタッフの取りまとめを行いました。

連日深夜に及ぶ準備の努力が実を結び、当日は総勢1,000名の男女に出会いの機会を提供することができました。



↑ ボランティア説明会の様子



↑ 飲食店で出会いを楽しむ参加者



↑ イベントが無事終了して安堵

3. 業務が見える化できるクラウドシステム「Log+」(2019年4月～)

(株)シンプルウェイでのIT分野の企画・営業経験と、労働法を中心とした弁護士としての経験をふまえ、2018年7月に「法律×ITで社会を変える」をコンセプトに(株)リージットを起業し、代表取締役役に就任しました。

テレワーク時代の到来を見据え、タスク管理と時間管理の機能を組み合わせて、一日の業務内容をクリック操作だけで簡単に見える化できるクラウドシステム「Log+ (ログタス)」を開発。

次男の出産を翌月に控えた2019年4月に、同システムをリリースしました。

現在、Log+は東証1部上場企業を含む複数の企業で利用されているほか、2019年10月からつくば市と(株)リージットで同システムを利用した**市職員の働き方改革のための共同研究**を実施しました。

この共同研究の結果、公立小中学校の教員の業務における事務・報告書作成の負担が定量的なデータとして明らかになったほか、市民税課における繁忙期の業務時間のデータを詳細に把握することに成功し、同課の翌年度以降の繁忙期対策に役立てられました。



↑ Log+ を用いて業務時間を記録する市民税課職員
(画像出典：日本経済新聞電子版2020年1月20日付記事「茨城・つくば市、ICTで業務効率化へ」)

2010年9月、私は**一度目の司法試験に失敗**し、翌年の司法試験に向けて勉強を再開することにしました。ですが、2か月ほど経ったある日、勉強が全く手につかなくなってしまいました。

司法試験の浪人生が勉強をしなくなったら、もはやただのニートです。

順風満帆の船から突然社会の荒波に突き落とされたようなあの当時の感覚を私は今でも忘れられません。

どうしようもなくなった私は、**バックパックを背負って沖縄の離島を一人で放浪**しました。その旅の中で自分を見つめ直し、**全く違う道に人生の舵を切る**ことを決意しました。

そこから先の人生は、冒頭のプロフィールの職歴に書いてあるとおりです。

もし、一度目の司法試験に合格していたら、きっと今頃は普通の弁護士として一生懸命働いていたことでしょう。

それはそれで幸せな人生だったのかもしれませんが、私は、**司法試験に落ちたからこそ出来た経験や出会えた人達が、私の人生をより豊かで彩りのあるものにしてくれた**と思っています。

転んでもまた立ち上がれば良いし、転んではじめて見える世界もあります。

大切なのは、転ばないことではなく、**自分には立ち上がる力があると信じる**ことです。

私は、**転ぶことを恐れずに、この社会を変える挑戦をし続けます。**

挑戦の基本方針（3ない原則）

今回の挑戦をするにあたり、**後続の子育て世代にも挑戦の道を切り拓くため**、以下の「**3ない原則**」のもと、**仕事と育児をしながら無理せず楽しくできる範囲内**で活動しようと決めました。

①仕事と育児を犠牲にしない

- 弁護士・会社役員としての**仕事は今まで通り続けながら**挑戦します。
- 子供達が寝ている**午前3時から6時までの時間帯**と、子供達を保育所に預けている**平日日中の仕事の休憩時間**を使って挑戦します。

②他人のお金に頼らない

- 活動資金は**自分の貯金のうち「この挑戦のためならたとえ無駄になっても構わない」と思える金額**を上限とし、後援者などからの献金には頼りません。

③既存のやり方に因われない

- **ウェブサイト・SNS・リーフレットのポスティングによる情報発信**を基本とし、街頭演説や街宣車でのPRなどの従来型の活動は行いません。
- **後援会は組織しません**。私の政策・方針に共感いただける方々に、個々に応援いただければ幸いです。

挑戦を応援するには？

10秒で
応援

1. SNSで情報拡散



Facebookをご利用の方は・・・

「つくばチェンジチャレンジ」のFacebookページに「いいね！」をお願いします。

<https://www.facebook.com/298cc>



Twitterをご利用の方は・・・

「川久保皆実（@kawakubo373）」をフォローをお願いします。

<https://twitter.com/kawakubo373>



Instagramをご利用の方は・・・

「kawakubo373（川久保皆実）」をフォローをお願いします。

<https://www.instagram.com/kawakubo373/>



挑戦を応援するには？

3分で
応援

2. 応援メッセージを送る

以下の投稿フォームから、つくばチェンジチャレンジへの応援メッセージをお寄せください！

個人の方

<https://formok.com/f/3lzo4cv7>



企業・店舗の方

<https://formok.com/f/tvkvnx6>



※投稿内容は、つくばチェンジチャレンジの公式サイトにて公開させていただきます。

挑戦を応援するには？

クチコミ
で応援

3. 知り合い3人に伝える

あなたの知り合いで、この挑戦に興味を持ってくれそうな方を**3人だけ**思い浮かべてみてください。

その3人の方に、**この挑戦について、少しだけ話してみただけませんか？**

井戸端会議やメールのやり取りのついでに、「なんだか最近面白い挑戦を始めた人がいてね、」という感じで軽く話題に上げていただけると嬉しいです。



※対面での会話の場合はソーシャルディスタンスの確保にご注意ください。

挑戦を応援するには？

ファッション
で応援

4. 公式グッズを身につける



オリジナルアイテム作成・販売サイト「SUZURI」にて、つくばチェンジチャレンジの公式グッズを販売しています。

<https://suzuri.jp/298cc>

※ 公職選挙法で禁止されている寄附行為に該当しないよう、原価に100円のデザイン料を上乗せした価格で販売しています。



Tシャツ、トートバッグ、ステッカー、缶バッジ、ベビービブ、ベビーロンパースなど、色々なグッズをご用意しておりますので、ぜひグッズを身につけてつくばの街をお散歩したり、ジョギングしたりしてみてください♪

Facebook・Twitter・Instagramをご利用の方



公式グッズを身につけた写真を

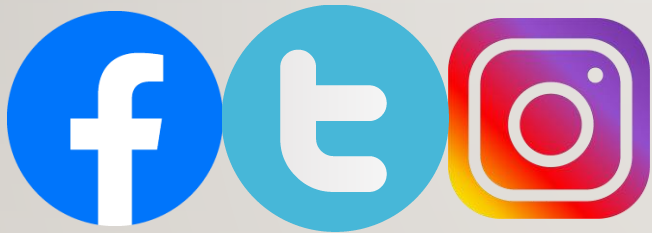
#つくばチェンジチャレンジ

のハッシュタグ付きで投稿お願いします♪

お気軽にご連絡ください 



kawakubo373@gmail.com



「川久保皆実」で検索
→ダイレクトメッセージ送信